

財務 R4 収支内訳書と証憑クラウド保管の追加対応版 (Ver.22.30) のリリース

財務 R4 の収支内訳書の様式対応、証憑クラウド保管の追加対応 Ver.22.30 のリリース予定についてご連絡いたします。

1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	リリースバージョン	データ変換対象バージョン	データ互換対象プログラム
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳	22.30	20.1以降	20.20以降
(*1) Weplat製品も対象です			

※Ver.22.30へのバージョンアップ後にライセンス認証は必要ありません。

※Weplat 財務応援R4のCD版をご利用のお客様も、会計マイページからプログラムがダウンロードできます。

※Ver.22.30で会社データ選択時にデータ変換処理が実行されます。変換後のデータは、財務R4 Ver.20.20以降のプログラムでご利用ください。

2. リリース時期と提供方法

■ E i ボードダウンロードマネージャー/エプソン会計マイページの公開

システム名	ダウンロード公開日
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic	2023年1月23日 (月)
財務応援 R4 Premium 財務応援 R4 Lite+ 財務応援 R4 Lite 財務応援 R4 Lite for IKX Weplat 財務応援 R4 工事台帳	2023年1月30日 (月)

■CDオプション契約ご加入のお客様向けのCD送付

システム名	出荷送品開始日
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic	2023年2月2日（木）
財務応援 R4 Premium 財務応援 R4 Lite+ 財務応援 R4 Lite 財務応援 R4 Lite for IKX	2023年2月13日（月）

3. 収支内訳書の改正対応

対象システム：IKX 財務会計 R4／財務顧問 R4 Professional／Basic

令和4年分収支内訳書（一般用）の新様式に対応します。

令和4年分の申告から、前々年分の業務に係る雑所得の収入金額が1,000万円を超える方が確定申告書を提出する場合に収支内訳書の添付が必要となります。

この改正に対応するため、収支内訳書（一般用）に「営業等」と「雑（業務）」とのいずれかを選択する項目が追加されました。

【収支内訳書（一般用）】

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

令和〇〇年分収支内訳書（一般用）

住所 氏名
事業所所在地 電話番号
業種名 屋号 加入団体名

令和 年 月 日

「営業等」又は「雑（業務）」のいずれかを選択してください

営業等 雑（業務）

（白 月 日 至 月 日）

給料賃金の内訳

科目	金額	科目	金額	氏名
売上(収入)金額		旅費交通費		

4. 「証憑クラウド保管」に関する追加対応

※「証憑クラウド保管」は、機能を拡充し2023年8月に有償版へ移行を予定しています。
有償版へ移行されない場合は証憑のアップロードはできませんが、無償期間中にクラウドへ保管済みの証憑の閲覧や、変更履歴の参照は可能です。

4-1. 「証憑アップロード」機能の追加

仕訳・伝票入力からの証憑紐づけで、ローカルに保存されているファイルと紐づけていた証憑を、クラウドへアップロードする機能を追加します。

この機能は、財務R4のメニューバー「保守」→「証憑アップロード」から起動できます。

会社基本情報変更の「電子帳簿設定」タブ→「証憑のクラウド保管：する」と設定する前に、仕訳と紐づけた証憑は、ローカルに保存されています。

「証憑アップロード」では、ローカルに保存されている証憑データをクラウドに一括してアップロードすることができます。

※「証憑アップロード」は、会社基本情報変更の「電子帳簿設定」タブ→「証憑のクラウド保管：する」場合で、会社データへのアクセス権がある場合に処理できます。

※電帳法対応の1次版（財務R4 Ver. 21.40）でローカルに保存してきている証憑を、クラウドへアップロードしたい場合に利用していただけます。

4-2. 制限事項への対応

「証憑クラウド保管」の制限事項としていた次の3点に対応します。

(1)	「証憑のクラウド保管：する」と設定している会社データでは、「会社複写(繰越不可)」、「会社コピー」ができないように制限していましたが、できるように対応します。
(2)	翌3カ月の仕訳・伝票へ証憑の紐づけを行い、繰り越し後の翌期データで紐づけのある仕訳・伝票を訂正した場合、証憑クラウド保管の訂正履歴が重複してしまいましたが、重複して登録されないように対応します。
(3)	複合仕訳および、伝票への証憑紐づけでは、以下の取引行数を目安に分割が必要でしたが、分割せずにアップロードできるように対応します。 【Ver. 22.2での行数目安】 複合仕訳：400行 / 振替伝票：200行 / 入金伝票：400行 / 出金伝票：400行

以上、よろしくお願いいたします。